

平成 29 年度 NPO 基盤強化支援事業 事業報告書

団体名	NPO 法人アースデイ中津
<p>1. 事業の内容及び今回の活動が地域課題の解決のためにどの様に役立つかについて記入してください。(チラシ等の印刷物がある場合は、それも添付してください)</p> <p>環境啓発や地域活性化並びに世代間の交流の催し等を行うことにより、より良い自然環境と社会環境を子ども達に引き継いでいけるようにがんばっています。</p>	
<p>2. 事業を実施している様子の分かる写真を 4 枚以上添付してください。</p> <p>① 環境啓発事業</p> <p>事業名 アースデイ中津 2018</p> <p>開催日：2018 年 5 月 13 日 (日)</p> <p>会 場：ダイハツ九州スポーツパーク大貞 (中津市大貞)</p> <p>内 容：</p> <p>市民、環境保全団体、教育機関、行政や企業が手を取り合う環境コミュニケーションの場です。「ガーデン=自然遊びを楽しむ」、「ワーク=ものづくり体験」、「キッチン=地産地消のスローフード」、「ステージ=衣食住などの講演、ライブや発表」、「きらきらアート=障がいがある方もない方も共に生きる場所作りと地域の子どもの作品展示」、「マルシェ=エコ商品や手作り品などの市場」、「Protect the Earth=次世代育成ボランティア研修を受けた学生の発表の場」、「xChange=洋服のぶつぶつ交換会」の 8 つのゾーンを設け総勢 123 団体で環境啓発イベントとの開催となりました。当日は天気が雨でありましたが、延べ人数 12,000 人以上の方々が県内外より足を運んでくださいました。</p>	
	
時期	2018年12月15日 10:00~13:30
場所	山望庵コミュニティカフェスペース
参加人数	50名
時期	2019年1月19日 10:00~13:30
場所	山望庵コミュニティカフェスペース
参加人数	20名
時期	2019年2月16日 10:00~13:30
	

場所 山望庵コミュニティカフェスペース

参加人数 25名

実施内容 農業従事者の新規販路づくりを目的とした地産地消のオーガニックマーケット開催



想定される成果 新規農業就労者などの販売の機会や消費者としては子育て中の母親たちから80代の年配者まで様々な年代があつまり作り手の話を直接きける貴重な場所づくりにつながりました。

事業名 江戸文化から学ぶエコイベント

フェスタディドルチェ 2018



時期 2018年11月16日、17日、18日10:00~15:00

場所 山望庵コミュニティカフェスペース

参加人数 延べ800名

実施内容 江戸文化から学ぶエコイベント

屋内から屋外まで体験型エコイベントとして様々な3R推進体験ブースが40ブース参加しました。

想定される成果 参加者は子育て中の母親たちから80代の年配者まで様々な年代があつまり環境の取り組みを学ぶ機会となりました。



事業名 味噌づくりワークショップ

時期 2018年12月19日10:00~15:00

場所 山望庵コミュニティカフェスペース

参加人数 20名

お天気にも恵まれ県北エリアを中心とした子育て世代30代40代の母親たちが参加した講演会でした。

自然遊びでワークショップを行い。薪を集めることや食品ロス問題、生ごみをたい肥にするやり方を循環型社会について、SDGsについての啓発を行いました。



味噌づくりという食をテーマとした中で環境のことを意識するいい機会となりました。

子育て世代は忙しくこのような話を聞く機会が少ないので参加者は勉強になったようでした。

② 次世代育成ボランティア事業

事業名 ひな祭りをキレイに ごみ拾い大会

日時 2019年3月2日(土) 9:30~10:30

場所 城下町エリア(お城周辺、ひな祭り会場周辺)

参加人数 中津東校23名、中津北校6名、中学生2名、商工会議所青年部3名、市民2名、市役所10名

結果 可燃ごみ不燃ごみ含め 36.2 キロ

<内容>

次世代育成ボランティア研修を経て企画運営実行を学生たちで行う取り組みとして、2年目となりました。

今年はSNSを利用して市民への呼びかけもそうして飛び込み参加者もありました。

学生たちに役割分担を行い司会進行、挨拶、記録、運営確認、表彰など大きな役割を果たしてもらいました。

緊張の場面が多々あったように思えますが皆さん自分の役割を立派に果たせて積極的な参加を行えました。

反省点としては、研修又は打ち合わせを含めてもう1時間は話し合いを持ち当日のシュミレーションを共有するとよかったかと思いました。

今回、気が付いたことは、ごみ拾い大会についての注意事項、タイムスケジュール、コミュニケーションの話を伝えることが重要に感じました。

この反省を生かして次回7月のごみ拾いではより良い結果を迎えたい良い弾みとなれたのではないかと思います。

<効果>

ひな祭りイベント中ということもあり、イベント会場付近を清掃できたことは観光で中津市に訪れた方への「おもてなし」の一つになったと感じました。



3. 来年度以降、事業をどのように継続していくかについて記入してください。(活動を継続するための運営体制＜会員や住民団体等との連携を含む＞の強化や安定的な収入確保の方策について具体的に記入してください。)

① 環境啓発事業

環境啓発事業「アースデイ2019」

10月27日(日)10時～15時

② 次世代ボランティア育成事業

中津のお祭りでごみ拾い大会

③ リサイクル促進事業

「アースデイ2019」お洋服の交換会

④ 地産地消のコミュニティカフェ事業

毎月第三土曜日 オーガニックマーケット山望庵

⑤ 美と健康雇用促進事業→休止

⑥ 消費教育につながるフェアトレードとエシカル推進事業→地元学校との連携